

静老協 第 49 号
平成 31 年 2 月 15 日

関東ブロック老人福祉施設
各都県市代表者並びに事務局長 様

第 55 回関東ブロック老人福祉施設研究総会

大会会長 石川 三義
大会実行委員長 種岡 養



第 55 回関東ブロック老人福祉施設研究総会分科会発表施設の推薦依頼について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、次回開催の関東ブロック老人福祉施設連絡協議会の代表者会議においてご承認を頂く予定ですが、第 55 回関東ブロック老人福祉施設研究総会静岡大会の分科会発表施設について下記によりご推薦を賜りたくお願いするものでございます。

今回のメインテーマは「未来へつなぐ 福祉の心 ～育てよう にっぽんの介護力～」と題しまして開催いたします。

2 日目の分科会は、昨年度に続き日頃の福祉・介護現場での取り組み実践、施設全体での研究、個人・グループによる研究など、先駆的、先進的な取り組みや実践研究を現場職員が自発的に発表する場でございます。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本研究総会の趣旨をご理解いただき、別紙「分科会発表施設推薦書」により平成 31 年 3 月 29 日（金）までに大会事務局宛に FAXにてご報告をお願いいたします。

なお、ご推薦いただきました発表施設につきましては、大会事務局より改めて発表用資料の提出方法、分科会打合せなどの詳細をご案内させていただきますのでご承知おきください。

記

1. 趣旨

- ・日頃の介護現場での取り組み実践、施設全体・グループ・個人による研究など、先駆的、先進的な取り組みや実践研究を現場職員が自発的に発表することを目的に開催します。
- ・今大会は、発表施設数及び、発表テーマを指定して各都県市代表者並びに事務局へ依頼させていただきます。
- ・今大会は、参加者が聴きたい発表を自由に選んで分科会会場を行き来できる形式とします。
- ・今大会は、分科会会場として 2 施設を使用して実施するため、発表と発表の間に 5 分～10 分の移動時間を設けることとしています。

2. 日程

(研究総会) 2019年9月26日(木)～27日(金)

(分科会) 2019年9月27日(金) 9:00～12:00

3. 分科会会場

アクトシティ浜松 コンgressセンター4・5階

(浜松市中区板屋町111-1)

ホテルクラウンパレス浜松

(浜松市中区板屋町110-17)

4. 依頼内容

①推薦依頼数(分科会テーマ一覧表を参照)

- ・3施設の推薦をお願いしたい都県

茨城県(テーマ1・3・5)、栃木県(テーマ2・4・6)、群馬県(テーマ1・3・5)、埼玉県(テーマ2・4・6)、千葉県(テーマ1・3・5)、東京都(テーマ1・3・5)、神奈川県(テーマ2・4・6)、新潟県(テーマ2・4・6)、山梨県(テーマ2・4・6)、長野県(テーマ1・3・5)

- ・2施設の推薦をお願いしたい市

横浜市(テーマ1・4)、川崎市(テーマ3・5)、千葉市(テーマ2・6)、さいたま市(テーマ1・5)

※過去の研究総会への参加状況から推薦数を決定しました。

※会場ごとの発表テーマの均一化を図るため、都県市毎に指定されたテーマ毎に1施設の推薦をお願いします。

※都県市内の研究大会等で過去に発表したものを再度発表して頂いてもかまいません。

※他都県市も含めたご推薦状況により、分科会テーマや題数が変更になる可能性がありますので、予めご了承ください。

②発表内容等について

- ・内容につきましては、別紙「分科会テーマ一覧表」をご確認下さい。
- ・発表時間は、1題当たり発表15分、質疑応答5分で行います。
- ・複数名での発表も可能です。
- ・パワーポイントを使用しての発表をお願いいたします。なお、パソコンの操作は、基本的に発表者様側でご対応をお願いいたします。

③発表者について

- ・下記に所属する職員又は管理者とします。併設事業所の発表も可能です。

- ・貴会会員の(1)特別養護老人ホーム (2)養護老人ホーム (3)軽費老人ホーム・ケアハウス (4)デイサービスセンター (5)地域包括支援センター・在宅介護支援センター (6)居宅介護支援事業所 (7)その他

④経費について

- ・発表者様の「参加費」「宿泊費」「1日目昼食代」は、原則2名様まで主催者で負担いたします。

⑤推薦について

- ・別紙「分科会発表施設推薦書」により平成31年3月29日(金)までに、下記大会事務局までFAXにてご報告願います。

5. その他

- ・発表の中より、全国老人福祉施設研究会議へ関東ブロックとして推薦させていただきます。

以上

(大会事務局)

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70

TEL 054-653-2311

FAX 054-653-2312

第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会（静岡大会）開催要綱

メインテーマ

「未来へつなぐ 福祉の心」 ～育てよう にっぽんの介護力～

開催趣旨

超高齢化時代を迎える中、私たちを取り巻く環境も厳しさを増し、人材確保、処遇改善、災害対策、ICTの有効活用、地域連携など、介護サービスの向上のみならず、職員の働く環境や社会福祉法人としての使命に至るまで、目の前にはありとあらゆる課題が山積しています。

そんな時代だからこそ、私たちには世界に誇る「にっぽんの介護力」を大切に育み、新しい時代へつないでいく架け橋となる責任があります。

本大会においても、介護の未来を真剣に考える仲間たちが集い、様々な取組みが発表されるでしょう。私たちがそれらを共有することで、さらなる困難な課題を解決するためのヒントやアイデアが生まれる貴重な機会となることを期待します。そして、静岡から全国へ、さらに世界へ介護の魅力を発信する大会とするべく開催いたします。

期 日

2019年9月26日(木)～27日(金)

会 場

アクトシティ浜松 大ホール コンgressセンター4・5階
(浜松市中区板屋町 111-1)
ホテルクラウンパレス浜松
(浜松市中区板屋町 110-17)

主 催

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
静岡県老人福祉施設協議会

後 援 (予定)

静岡県
浜松市
静岡県社会福祉協議会

日程・内容(予定)

<2019年9月26日(木)>

◎全体会 アクトシティ浜松 大ホール

11:00	12:30	13:00	13:50	14:00	14:50	15:10	16:40	17:00
受付	オープニング アトラクション	開会・式典	休憩	基調報告	休憩	記念講演	次回開催県紹介	

1. 式典
 - ・開会のことば
 - ・主催者あいさつ
 - ・感謝状贈呈
 - ・来賓祝辞
 - ・主催者紹介
 - ・閉会のことば

2. 基調報告
 - 演題 「調整中」
 - 講師 公益社団法人全国老人福祉施設協議会

3. 記念講演
 - 演題 「明日を読むー正しい判断は、正しい情報から」
 - 講師 辛坊治郎氏 (元読売テレビ報道局解説委員長)

4. 次回開催県紹介 神奈川県

◎展示会 アクトシティ浜松 (10:30~17:30 予定)

<2019年9月27日(金)>

◎分科会 アクトシティ浜松 コンgressセンター
ホテルクラウンパレス浜松
9:00~12:00

◎展示会 アクトシティ浜松 (8:30~12:30 予定)

分科会テーマ一覧表

区分	テーマ	趣旨	発表例
1	中重度ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアに関する実践を通し、その人らしい暮らしを支える。 ・認知症予防に関する先駆的な取組を実施し、地域で暮らす。 ・医療との連携を図り、健康への専門的支援を実践する。 ・施設内外の専門職と協働し、チームケアの実践が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症ケアの実践 ②ケアプランの取組 ③認知症カフェ等との連携 ④身体拘束廃止の取組 ⑤医療的ケアの実践 ⑥看取りケアの取組 ⑦感染症予防の取組 ⑧褥瘡防止の取組 ⑨入浴・排泄・食事の専門的な取組
2	暮らしを楽しむ工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの実践において、介護・看護・栄養等多職種連携によるチームケアから生まれるその人らしい生活。 ・8050問題等、家族への支援が必要となる現在、相談支援として家族へのアプローチを考える。 ・自立支援に向けた取組の工夫。 ・養護・軽費等専門的支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ①アセスメントシートの活用 ②自立支援に向けた取組 ③口腔機能ケア・栄養マネジメントの取組 ④レクリエーションの取組 ⑤介護技術向上の取組 ⑥家族支援の取組 ⑦買い物支援・外出支援の取組 ⑧在宅復帰への支援
3	多職種協働・連携の実践(チーム・組織・多機能サービスの取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設ケアの実践において、介護・看護・リハビリ・栄養・調理等のスタッフの総合的なチームケアが不可欠となっている。 ・施設内外の専門職との多職種連携、チームケアの実践が期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①身体拘束廃止の取組 ②褥瘡防止の取組 ③感染症防止の取組 ④リスクマネジメント(事故防止)の取組 ⑤施設内カンファレンスの取組 ⑥アセスメントシート活用 ⑦連携パス活用
4	魅力ある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材の育成・確保が喫緊の課題となっている。施設(事業所)がどのような人材育成、処遇改善、介護機器等に関する取組を行なっているか検証する。 ・EPA等、外国人労働者への配慮を行い、介護力向上に関する支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ①職場研修制度、資格取得の取組 ②人事管理、人事評価、労務管理 ③職員満足度を高める取組 ④介護ロボット・AI・ICT ⑤外国人技能実習生、EPA等への取組 ⑥介護実習生の受入れ ⑦人材確保の取組・定年の見直しの取組 ⑧福利厚生取組
5	在宅サービスの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所サービス、通所介護サービス、訪問介護、地域包括支援センター等の実践例を通し、介護、介護予防、総合事業等の在り方を学ぶ。 ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護、医療、介護予防、住まい、生活支援等の一体的提供体制の構築が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域包括支援センターの実践例 ②居宅介護支援サービスの実践例 ③短期入所サービスの実践例 ④通所介護サービスの実践例 ⑤訪問介護サービスの実践例 ⑥訪問看護サービスの実践例 ⑦介護予防の取組 ⑧新しい総合事業の取組
6	社会福祉法人における取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「我が事・丸ごとの地域づくり」「地域共生型サービスの位置づけ」等が掲げられ、地域福祉推進が求められている。 ・社会福祉法人の使命と地域貢献等の取組について考える。 ・施設の運営管理、施設設備、災害・防災対策等についての取組事例を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①我がこと・丸ごとの共生社会づくり ②地域・まちづくりの取組 ③地域貢献 ④公益的な取組 ⑤施設の運営管理 ⑥施設整備 ⑦災害・防災対策 ⑧防災協定・施設間交流の取組 ⑨ボランティアの発掘・養成

都縣市テーマ依頼数一覧

地区	依頼数	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4	テーマ5	テーマ6
茨城県	3	1		1		1	
栃木県	3		1		1		1
群馬県	3	1		1		1	
埼玉県	3		1		1		1
千葉県	3	1		1		1	
東京都	3	1		1		1	
神奈川県	3		1		1		1
新潟県	3		1		1		1
山梨県	3		1		1		1
長野県	3	1		1		1	
横浜市	2	1			1		
川崎市	2			1		1	
千葉市	2		1				1
さいたま市	2	1				1	
静岡県	4		1	1	1		1
発表数計	42	7	7	7	7	7	7